

論議テーマ 「『めざす働き方』を考えよう」

ファシリテーターに求められること

ファシリテーター（以下「F」という）に特に専門的な知識は必要ありませんが、以下のことに留意して臨みましょう。

- ① 時間を計測しながら、予定時間内に最後までワークが終了するように意識しましょう。
- ② ワークで作業が停滞している参加者がいた場合は、作成例を見てみるなどの案内をしましょう。

(1) 職場会前の準備

＜配布資料の準備＞

- ガイド「めざす働き方を考えよう」(A4 サイズ両面)
- ワークシート「『めざす働き方』を考えよう！」(A3 サイズ両面)
- トレーニング「いろいろな環境変化が自分の働き方にどのように関係するか考えてみよう！」(A4 サイズ片面)
- 10 年後の環境シート(A4 サイズ片面)

＜会場レイアウト＞

- 職場会中、お互いの「めざす働き方」を共有する時間を設ける場合は、4名くらいのグループで話しあえるように島をつくりましょう。スクール形式で行う場合は、ワークの際に隣同士や後ろを向くなどして、3～4名のグループで話しあうようにします。

＜グループ分け＞

- 参加者がお互いを知らない場合は、最初に自己紹介などを行い、話しやすい雰囲気をつくりましょう。
- ファシリテーターの人は基本グループの話しあいに入らず、時間管理や各グループの話しあいを観察するようにします。ただし、少人数の場合は参加者と一緒に話しあうなど人数によって判断してください。

＜参加者が準備する物＞

- 筆記用具を持参するよう案内するか、事前に用意しておきます。

(2)タイムスケジュール(標準:50分)

時間	行動	補足
3分	① <F説明>「めざす働き方」を考える必要性	職場会のテーマ紹介、「めざす働き方」を考える必要性
2分	② <F説明>ワークの進め方	ワークの全体像
7分	③ STEP1:①これまでの仕事におけるエピソードを振り返ろう	自分の過去の仕事におけるエピソードを振り返り、ワークシートに記入するよう指示する
7分	④ STEP1:②「大切にしているもの」を導きだそう	振り返ったエピソードから働くうえで大切にしているもの(価値観)を考え、ワークシートに記入するよう指示する
5分	⑤ STEP1:③「強み」を導きだそう	振り返ったエピソードか自らの強み(知識・スキル・経験)を考え、ワークシートに記入するよう指示する
7分	⑥ STEP1:④「めざす働き方」を考えよう	導き出した「大切にしているもの」「強み」をふまえ「めざす働き方」を考え、ワークシートに記入するよう指示する
7分	⑦ STEP2:「環境変化」を捉えよう	私たちの働き方に関係するであろう環境変化と、その具体的な関係について考え、ワークシートに記入するよう指示する
6分	⑧ STEP3:将来の環境変化を想定しながら「めざす働き方」をもう一度考えよう	前で考えた「めざす働き方」が、環境変化があったとしても変わらないのか、それとも変わるのか、もう一度「めざす働き方」を考え、ワークシートに記入するよう指示する
5分	⑨ STEP4:「めざす働き方」を実現するために、今からしておくべき行動を考えよう	「めざす働き方」を実現するために、今からしておくべきことは何かを考え、ワークシートに記入するよう指示する
1分	⑩ <F説明>まとめ	今後、プロセスを繰り返していくこと、実現に向けて行動していくことを促す。

(3)読み上げ原稿(シナリオ)

① <F説明>「めざす働き方」を考える必要性

【ガイド「めざす働き方を考えよう」をもとに説明】

みなさん、こんにちは。これから職場会を始めます。よろしくお願いします。

なぜ、「めざす働き方」を考えることが重要なのか？

今日のテーマは「めざす働き方を考えよう」というものです。

そもそも、なぜ「めざす働き方」を考えることが重要なのでしょうか？ガイド「めざす働き方を考えよう」1ページの1.をご覧ください。

「仕事」は人生の3分の1を占めるといわれ、私たちの多くは、20歳代から60歳代までの約40年間、何らかの仕事をしながら生活することになります。皆さんも、そのような長い仕事人生を、ただ何となく働くのではなく、「働きがい・やりがい」を感じながら、充実して働きたいと思っているのではないのでしょうか？

そのためには、皆さん自身が「働きがい・やりがい」を感じながら働いている姿、「めざす働き方」を考え、しっかりと認識することで、そこに到達するために自分が必要とする行動などが明確になってくると思います。

とはいえ、実際は「日頃の業務が忙しくて、そこまで考える暇がない」という人が多いのではないのでしょうか。ですが、そのまま日々を過ごしては、いつまでたっても「働きがい・やりがい」を感じながら働く自分に到達することは困難です。まずは「めざす働き方」を考える、そこから始めていくことが大切です。

そして、この「めざす働き方」考えるうえで大事なことが、ここにチェックされている「自分にとっての働く意義や価値観を重視すること」「一人ひとりが、自分のこととして考えること」「環境変化を想定しながら考えることや、環境変化に応じて適宜見直していくこと」です。

私たち一人ひとりが、自らを取り巻くさまざまな環境変化を捉えて「めざす働き方」を考え、その実現に向けて取り組んでいきましょう。

「めざす働き方」を自ら考え、実現していくためには？

次に、2. をご覧ください。

先ほど、「めざす働き方」は環境変化を想定しながら考えることが重要だとお話しましたが、今後の新たな環境変化によって、「めざす働き方」やその実現に向けた行動が変化することもあります。

「めざす働き方」を自ら考え、実現していくためには、このイメージ図のとおり、一度考えれば良いのではなく、新たな環境変化を捉えて自らの「めざす働き方」やその実現に向けた行動を都度見直す、これを繰り返していくことが大切です。

今日の職場会では、こうしたプロセス(の一部)を実際に考えてみることで、皆さんが、今後、「めざす働き方」をしっかりと認識する、環境変化を捉えてプロセスを繰り返していく、考え方を身につけてもらえればと思います。

② <F説明>ワークの進め方

ワークの進め方を説明します。ガイド「めざす働き方を考えよう」の2ページをご覧ください。

「めざす働き方」とその実現に向けた行動は、ここに記載の4つのステップで考えていきます。

まずは、「めざす働き方」を考えるにあたって重要な「大切にしているもの(働く意義や価値観)」「強み(性格・スキル)」をこれまでの仕事におけるエピソードから導き出し、それらをふまえた「めざす働き方」を考えます。

次に、今後生じる環境変化と、それが私たちの働き方にどのように関係があるか、について考えます。

次に、前に考えた「めざす働き方」が、こうした環境変化があったとしても変わらないのか、それとも変わるのか、ここでもう一度「めざす働き方」について考えます。

最後に、こうして考えた「めざす働き方」を実現するために、今からやっておくべき行動を考えます。

それでは、ワークに入っていきます。

③ <STEP1:あなたの「めざす働き方」を考えよう ①これまでの仕事におけるエピソードを振り返ろう>

まず、「大切にしているもの」「強み」をふまえた「めざす働き方」を考えるステップです。

はじめに、皆さん自身がこれまでの仕事をしてきたなかで印象に残っているエピソードを振り返ってみましょう。

(例)を参考に、「①楽しかった・嬉しかったこと」「②うまくできたこと・やり遂げたこと」、それぞれについて記入してください。

④ <STEP1:あなたの「めざす働き方」を考えよう ②「大切にしているもの」を導きだそう>

次に、今振り返ったエピソードからあなたの「大切にしているもの」を導きだしていきます。

①の、楽しかった・嬉しかったエピソードが、なぜそう感じたのか、(例)を参考に考え、左側の欄に記入しましょう。それができたら、その内容をヒントにして、私の「大切にしているもの」、あなたが働くうえで“ここは大事”“ここはゆずれない”と思うことは何か、(例)を参考に思いを巡らせ、右側の欄に記入しましょう。

⑤ <STEP1:あなたの「めざす働き方」を考えよう ③「強み」を導きだそう>

同じように、今度はあなたの「強み」を導きだしていきます。

②の、うまくできた・やり遂げたエピソードが、なぜそうできたのか、どんな自分の性格や知識・スキル・経験がそれにつながったのか、(例)を参考に考え、欄に記入しましょう。

⑥ <STEP1:あなたの「めざす働き方」を考えよう 4「めざす働き方」を考えよう>

それでは、ここまでで導き出した、あなたの「大切にしているもの」「強み」をふまえて、あなたの「めざす働き方」を考えてみましょう。

自分の「強み」を、どのように活用して、どのように働いていけば、自分の「大切にしているもの」を実感することができるだろうか、という具体的な姿を、(例)を参考に考え、欄に記入しましょう。

これで、「大切にしているもの」「強み」をふまえた「めざす働き方」ができました。

次に、これに「環境変化」を照らし合わせていきましょう。

⑦ <STEP2:「環境変化」を捉えよう>

次に、「めざす働き方」を考えるうえでもう一つ重要な、「環境変化」について考えてみましょう。

あなたが日頃ニュースや新聞記事などに目を通していて、将来、働き方に影響するかもと思った環境変化は、自分の働き方全般に照らして、具体的にどのような関係があると思いますか。(例)を参考に考え、記入しましょう。環境変化を挙げるのが難しい場合は、「10年後の環境シート」を見て、印象に残ったものを選んでみてください。

なお、環境変化は思いつくものの、それが自分の働き方に具体的にどのような関係があるのか、なかなかイメージできないなど感じる方はいませんか？これは、やり方を知ってすぐにできるというものではないため、普段からこうした考え方をすることに慣れていくことが重要です。

今回は実施しませんが、「トレーニング！」というシートがありますので、普段ニュースや新聞記事などをもとに、たまに環境変化と働き方の関係について練習をしてみてください。これを繰り返していくことで、そのうち環境変化と自分の働き方との関係について自然と考えられるようになっていくと思います。

⑧ <STEP3:将来の環境変化を想定しながら「めざす働き方」をもう一度考えよう>

ここまでで、「大切にしているもの」「強み」と「環境変化」について考えることができました。

さて、STEP1で考えた「めざす働き方」は、STEP2で考えた環境変化・自分の働き方との関係を考えてみた結果、内容は変わるでしょうか？それとも、変わらないでしょうか？

そういう環境変化があったとしても「こう働きたい！」と思うか、それとも「異なる働き方をしたい！」と思うか、ここでもう一度考えて、「めざす働き方」を記入しましょう。なお、欄の右側に、環境変化によって「めざす働き方が」変わる場合、変わらない場合の例が載っていますので、参考にしてみてください。

⑨ <STEP4:「めざす働き方」を実現するために、今からしておくべき行動を考えよう>

最後に、STEP3で考えた「めざす働き方」を実現するために、今からしておくべきことは何か、今の自分に足りないことや、より延ばしておくべきことなどは何かを考え、欄に記入しましょう。

⑩ <まとめ>

いかがでしたか。これで、私たち一人ひとりの、自らを取り巻くさまざまな環境変化を捉えた「めざす働き方」と、その実現に向けた行動を考えることができました。

冒頭にもお話ししたように、「めざす働き方」と「実現のための行動」は、今回一度考えたら終わり、ではありません。環境は常に変化していくため、今後環境変化を捉えた場合には、STEP2 から STEP3 を再度考えてみましょう。そして重要なのは、一人ひとりが実際の行動に移していくことです。自らの「働きがい・やりがい」の実感に向けて、是非取り組んでいきましょう。

では、これで本日の職場会を終了します。ご協力ありがとうございました。